



全国から300を超えるシクラメンが出品！ 第54回全国花き品評会シクラメン部門が開催

第54回全国花き品評会シクラメン部門

- 期日：12月2日(水)
- 場所：大田市場花き棟 (株)フラワーオークションジャパン
- 主催：一般社団法人 日本花き生産協会 後援：農林水産省、東京都
- 内容：シクラメン品評会、新品種コンテスト

■ 毎年恒例の品評会が今年も開催！

全国花き品評会シクラメン部門は、毎年シクラメンの出荷が本格化する11月下旬から12月上旬ごろに大田市場花き棟の(株)フラワーオークションジャパン（以下FAJ）で開催されています。今年の品評会には、北海道から香川県まで日本中から323点ものシクラメンが出品され、群馬県からも63点が出品されました。

審査は、各県の普及指導員や農業技術センターの研究員で構成される「技術性評価チーム」と、生花店で構成される「商品性評価チーム」により行われ、生産者の栽培技術と販売時の商品性の両面から評価が行われます。そして、第一次審査から第三次審査までの厳しい審査を経て特別賞・金賞などが決定されます。また、品評会審査と同時に、シクラメン新品種コンテストも実施され、こちらは大賞1点と審査員奨励賞1点が選出されます。

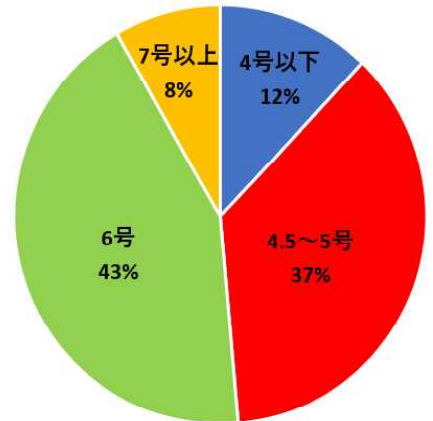
審査については、出品者の名前等の情報は伏せられるとともに、タブレット端末を使用して各審査員が個別に採点を行うため、非常に公平性の高い審査が実施されていました。

各県の出品数については、栃木県が最も多く97点の出品があり、次いで群馬県の63点の出品となり、この2県で全体の出品数の49.5%となりました。また、出品されたシクラメンのサイズは6号が43%と最も多く、次いで4.5～5号が37%となりました。

例年であれば、審査翌日の競売前に、農林水産大臣賞を受賞した生産者がFAJのオークションルームに来場し表彰を受けますが、今年については新型コロナウイルスの影響もあり生産者は来場せず、代理人による表彰が行われました。



審査の様子



出品区分(鉢サイズ)別の割合

■ 群馬県からは13点が入賞！

審査の結果、群馬県から出品された商品については、3位の農林水産省生産局長賞をはじめ4点が特別賞・金賞に入賞したほか、1等賞3点、2等賞3点、佳作2点の計12点が入賞しました。

また、審査と同時に行われたシクラメン新品種コンテストでは、桐生市のさかもと園芸から出品された「(仮称)ジェフェリエ～祝～」が大賞を受賞しました。

今回の品評会では、新品種コンテストを含め57点の入賞があり、そのうちの約2割を占める13点が群馬県の実産者となりました。この結果は本県産シクラメンの品質の高さと生産者の技術の高さを感じられるものであり、市場関係者からの評価の向上に寄与したものと考えられます。



農林水産省生産局長賞を受賞したシクラメン



新品種コンテスト大賞(仮称)ジェフェリエ～祝～